



セキュラトピック ～マイロックの応用例③ (※応用例①は平成28年12月号、②は平成29年5月号に掲載しています。)

この度、福岡県のある中学校にマイロックを設置いたしました。
これまで学校施設や保育園などにも多数の設置事例がありますが、部外者が入れないよう門扉や正面入り口の設置がほとんどでした。
今回は校舎の屋外通路出入口に設置しました。

導入の経緯をお聞きしたところ、**2階～5階の屋外通路について、これまで学生の出入りが容易だった為、生徒が転落するなどの、万が一の事故に対するの不安を解消するために設置を決めたとのことでした。**

そこで、2階～5階の各階の非常扉にマイロックを設置しました。また、学校側の運用にも配慮し、マイロックもオーダーメイドで仕様変更しました。その変更点を紹介します。

①マイロックの解錠ボタン及び連続解錠ボタンを無効化しました。

これにより生徒がマイロックを操作・解錠して屋外通路に出ることはできなくなりました。

②解錠操作は専用のリモコンのみで行うようにしました。

各階のマイロックはリモコンにて遠隔操作を行うことができます。教員のみがリモコンを操作でき、生徒は教員の確認無く屋外通路に出ることができないようにしました。

このことによって、必要な場合にのみ教員が非常扉の管理を行うことができるようになり、より安全性を図ることができるようになりました。



写真左: マイロック室内側リア部

室内側からは通常の解錠ボタンでは解錠することはできません。生徒が勝手に操作して外に出ることを防止しています。

写真右: 室外側テンキー部

入室する場合は、教員が持っている専用リモコンあるいは暗証番号で解錠が可能です。

さらに・・・緊急時の対応に備えて！

③非常用ボタンとマイロックの連動

天変地異など緊急時には生徒はいち早く避難しなければなりません。屋外通路を使用するために、教員の確認を取る時間も無い場合もあるかもしれません。そこで、各階の非常扉の、少し高い位置に非常用ボタンを設置しました。非常用ボタンを押すと、各階それぞれのマイロックは連続解錠状態に切り替わり、誰でも扉を開けることができるようになります。

④火災警報器とマイロックの連動

そして、火災が発生した場合も想定しています。火災が起きると扉の非常ボタンも押せないかもしれません。避難のために、すべての階のオートロック機能を停止させる必要があります。一階にある火災警報器が作動すると同時にすべての階のマイロックに一齐に解錠信号が送られ開放状態となり、生徒は速やかに避難することができます。



写真左: 非常用ボタン

扉上部にある非常用ボタン。非常時にボタンを押すとマイロックが解錠します。普段はカバーを付け、誤って押せないようボタンを保護しています。

写真右: 火災警報器

1階にある火災警報器が作動すると、すべての階のマイロックに信号が送られ解錠状態となります。



写真左: システムボックス

左上部のBOXを全ての階のマイロックと一緒に設置し、火災警報器からの信号を受信します。

- ①遠隔解錠操作、②非常用ボタンによる解錠
- ③火災警報器による解錠で生徒の安全を守ります。

こちらの中学校の運用に合わせて製造された、世界で一つだけのセキュリティシステムです。

今回は中学校の設置事例をご紹介します。

屋外通路からの侵入者だけでなく、生徒の事故も防ぎながら、そして万が一の時には避難を容易に行えるなど、**機能と運用を同時に備えたシステムを構築しました。**すべては**生徒の安全を第一に考え、そして様々な事態を想定して仕様変更を実施しました。**

私たちセキュラは、単にマイロックを設置することが目的ではありません。**私たちの目的はマイロックの機能や運用を通じてお客様の安心・安全・便利な生活空間を作り出すことにご協力させていただくことにあると考えます。**今後もお客様に喜ばれるサービスの実現に向けて精進して参ります。



賃貸住宅フェア2017 in大阪に出展しました!

9月29日・30日にインテックス大阪で開催された、賃貸住宅フェア2017 in大阪に参加しました。セキュラは東京に引き続き、10年以上連続しての出展となります。

今年も多くのオーナー様や、不動産会社様がセキュラのブースにお越しくださいました。

今回の出会いを大切に、**オーナー様や不動産会社様の問題解決や今後の更なる発展のためにマイロックを通じてご助力していきたい**と存じます。もっともご縁を拡げ、マイロックの普及に努めて行く所存です。ご来場いただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



多くのお客様がブースにお越しくださいました。参加した社員全員で、心を込めてマイロックを紹介しました。

代理店である、ベストシステム社の西山氏も毎年フェアに参加してマイロックをアピールして下さいます。代理店様にも感謝です。



章栄管理様『お部屋のお悩み相談』に参加しました!

章栄管理株式会社様が開催した『お部屋のお悩み相談』に出展しました。章栄管理株式会社は、章栄不動産が中国地方を中心に展開している『フローレンス』シリーズの分譲マンションを管理している会社です。

セキュラは、今まで**全国のフローレンスシリーズマンションに標準・オプション合わせておよそ140棟、6,700戸にマイロックを設置**しています。

今回は、既に入居されているお客様向けの初めての相談会でした。セキュラによるマイロックの他、キッチンやカーテン、お掃除関連等、多種多様な商品が紹介され、多くのお客様で大変賑わっていました。チラシやインターネットでの商品紹介も大切ですが、やはり実際に見て触れて商品を確認することができる機会はおお客様の生の反応を見ることができ、改めてその重要性を感じる良い機会となりました。

特にマイロックは、使って頂いて初めて利便性を実感できます。またその便利さから無いと一転、不便に感じるものでもあります。

今まで使ったことのないオーナー様にマイロックを知って頂きたい。そしてすでに設置いただいているオーナー様にも未永く使って頂きたい。そのような気持ちで一日お客様と接しました。



ブースの様子① セキュラ(マイロック)
若さ溢れるような元気と笑顔でマイロックを紹介しました。



ブースの様子② キッチン展示

今月の言葉

【型破りと型崩れ】

一見同じように見える言葉ですが、この二つの言葉には大きな違いがあります。これには日本での茶道や武道などにおける、「**守破離**(しゅはり)」の考え方が根底にあります。守破離とは、まずは師匠に言われたことを無意識にできるようになるまで徹底的に型を「**守る**」事から始まります。それができるようになると、次の段階としてその型を基に自分に合った、より良いと思われる型を試行錯誤しながら既存の型を「**破る**」。最終的に自分自身が創り出した独自のものが出来上がれば、それは型の枠から「**離れ**」て確立されたものになる、というものです。

基本を身に付け、応用を研究し、自分なりの境地を創造することが**型破り**と言えます。基本を十分に習得しているからこそ型を破ることができるのです。

逆に、基本の存在さえ知らず、あるいは知っていたとしても無視して自分の思いや感覚だけで取り組むのは型破りではなく、ただの**形無し**です。失敗して振り返ってみても基礎の部分が無いため原因も十分判明できないまま進歩もありません。まさに**型崩れ**と言えます。

今の時代は自主性を重視する傾向がありますが、まずは基本を忠実に守っていく事こそが、一見回り道のようにも実は個性や自主性を出すことの第一歩なのではないのかと思います。

セキュラもまだまだ成熟できてはいませんが、型崩れでなく、『**型破り**』ができるよう、今後も精進して励んでいきたいと思ひます。